

## 数学オリンピック財団より 23

公益財団法人数学オリンピック財団  
理事長 鈴木晋一

数学オリンピックの本年度の国際大会はすべて終了し、日本代表選手の成績もすべて出揃いましたので、その結果をお知らせいたします。

3月にアジア太平洋数学オリンピック(APMO)と、4月に行われたヨーロッパ女子数学オリンピック(EGMO)の結果は、「数学通信」第22巻第1号でお知らせしましたので、以下はその後の分です。

第58回の国際数学オリンピック大会は(International Mathematical Olympiad : IMO)は、7月12日から23日まで、ブラジル(Brazil)のリオデジャネイロ(Rio de Janeiro)で開催されました。

参加各国の団長団は、選手団よりも一足早く、7月12日にブラジル入りして大会の準備に努め、16日には選手団が次々に到着、翌17日に開会式が行われました。コンテストは、続いて18日と19日に行われました。

IMOでの成績は以下の通りです。

高谷 悠太	開成高等学校	3年	金メダル
黒田 直樹	灘高等学校	2年	金メダル
窪田 壮児	筑波大学附属駒場高等学校	3年	銀メダル
神田 秀峰	海陽中等教育学校	3年	銀メダル
岡田 展幸	広島大学附属福山高等学校	3年	銅メダル
清原 大慈	筑波大学附属駒場高等学校	2年	銅メダル

参加した国・地域は111で、参加選手は615名(男子553名、女子62名)で、いずれも昨年度の香港大会を上回り、史上最大となりました。金メダルは48名、銀メダルは90名、銅メダルは153名でした。なお、高谷悠太君は全体で1位で3年連続の金メダルです。

国別順位は、以下の通りです。

1. 韓国
2. 中国
3. ベトナム
4. アメリカ
5. イラン
6. 日本
7. タイ, シンガポール
9. イギリス, 台湾
11. ロシア
12. ギリシャ, ジョージア

なお、来年はルーマニア(Romania)の Cluj-Napoca で7月3日から14日に開催される予定です。

以上